



宇都宮ロータリークラブ会報



宇都宮ロータリークラブ 会長 岡崎善胤・幹事 熊本勇治 ID#13888
テーマ「ロータリーは何をするか？」各々のロータリーの価値を行動しましょう！
国際ロータリー会長 バリー・ラシン テーマ BE THE INSPIRATION
国際ロータリー第2550地区 2018-19年度ガバナー 伊東永峯
テーマ「ポールを語ろう…それは一人のインスピレーションから始まった」
例会日 火曜日 12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12
事務所 宇都宮市江野町1-12 栃木実業ビル2F Tel 028-666-0555
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2019年) 令和元年6月4日 No 42 2018~2019年度 (第3291回会報)
会員数 102名 出席者数 66名 出席率 70.2% 前回修正率 73.3%
MU会員 永井宏樹会員

ビジター紹介 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

中村弘様 (ゲストスピーカー) 熊倉学様 (宇都宮陽北ロータリークラブ)

会長挨拶 (岡崎善胤会長)

例会にお集まり頂き有り難うございます。本日は宇都宮北ロータリークラブ中村弘様、宇都宮陽北ロータリークラブ熊倉学様、宜しくお願ひ致します。本年度最後の理事会が、先程終了致しました。パスト会長会議、クラブ協議会、ライラの事業等、今月は忙しいです。本日の例会も宜しくお願ひ致します。

誕生祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

池田幸会員 助川通泰会員 宮本隆昌会員 池田剛会員 宮田初男会員

結婚祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

荒井規雄会員 (21年) 和田均会員 (47年) 印出井敏英会員 (45年) 矢治和之会員 (29年)
青木栄久会員 (27年) 明賀一博会員 (17年)

奥様誕生祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

吉田里香様 重信玲子様 岸本眞理子様 齋藤清恵様 大塚順子様 加藤京子様 宮本恵子様

幹事報告 (熊本勇治幹事)

本日の理事会の報告をさせていただきます。会員数6月1日現在、102名 (他名誉会員2名) です。協議事項としまして、6月15日に親睦活動委員会と単身赴任の会主催で、ゴルフコンペが開催されます。6月のロータリーレート、1ドル110円です。6月12日、第3グループの会長・幹事会が開催されます。その時に、毎年宇都宮ロータリークラブで市より寄贈された消防自動車を海外に寄贈しておりますが、これは宇都宮市民の物と考え、宇都宮10ロータリークラブで協議してはどうか？という協議事項がありました。次に、各委員会の報告です。クラブ奉仕委員会より、副会長と委員長の両立は難しいとの話が有りました。社会奉仕委員会より、地区補助金の提出をさせて頂いた報告がありました。国際奉仕委員会では、消防自動車事業を引き続き協議したいとの報告がありました。青少年奉仕委員会より、6月9日高校生ライラに文星芸術大学附属高等学校より6名、宇都宮女子高等学校より8名参加の報告がありました。以上です。

社会奉仕委員会報告 (関口快太郎委員長)

皆さんのレターボックスに、映画のチラシとチケットを入れさせて頂きました。「奇跡の小学校の物語」7月6日上映となっております。

三井勝滋会員

この映画鑑賞会主催は、宇都宮法人会です。2本の映画があります。「あん」と「この学校はなくさない！～奇跡の小学校の物語～」です。会員の皆様には是非見て頂きたく上映を致します。今全国で年間500校の公立校が廃校になっています。その様な中、宇都宮市内でなくなりかけた小学生が増えてゆくドキュメンタリー映画です。古賀志山の麓、城山西小学校の復活を画いた映画です。特に注目してほしいのは、福田知事・佐藤市長も出演しております。いかにこの小学校が教育・地域の皆さんの協力によって復活したかというドキュメンタリー映画です。1時間20分の作品で、ヒカリ座で上映です。宜しくお願い致します。

親睦活動委員会報告（明賀一博委員長）

本日、宇都宮10ロータリークラブゴルフ大会の打ち上げを行ないます。宜しく申し上げます。次年度の親睦手帳作成にあたりまして、変更のある方は事務局へ申し出て下さい。6月15日、単身赴任の会ゴルフ大会が桃里カントリー倶楽部で予定しております。

会員増強委員会報告（阿部欣文委員長）

本日、例会終了後に第5回会員増強委員会を行ないます。今年度、会員の皆様には新入会員の情報を頂きまして本当に有り難うございました。推薦・ご紹介を頂けます方がいらっしゃいましたら、是非ご案内を頂ければと思います。お待ち致しております。宜しくお願い致します。

ニコニコボックス委員会（栗飯原悟副委員長）

誕生祝：池田幸会員 助川通泰会員 宮本隆昌会員

結婚祝：和田均会員 荒井規雄会員 明賀一博会員 矢治和之会員 印出井敏英会員

奥様誕生祝：吉田範行会員 宮本隆昌会員 加藤幸夫会員 岸本卓也会員 大塚秋二郎会員
齋藤一郎会員

プログラム紹介（プログラム委員長 岸本卓也委員長）

本日の卓話は「宇都宮が生んだ初代横綱 明石志賀之助に迫る」です。中村弘様にお願いをしております。中村様は宇都宮市出身で、建築設計をされながら建築の歴史、日本の歴史を研究されています。宇都宮北ロータリークラブの会員様です。平成18年にお仲間と一緒に「歴史文化を伝承する市民の会」を設立されました。歴史資料に少ない栃木県が生んだ横綱明石志賀之助の実像を明らかにされました。宜しくお願い致します。又下野新聞主催の大相撲夏巡業宇都宮場所が8月8日に開かれます。宜しくお願い致します。

卓話 「宇都宮が生んだ初代横綱 明石志賀之助に迫る」

宇都宮北ロータリークラブ 中村弘 様

宇都宮が生んだ初代横綱 明石志賀之助、ご存じだったでしょうか？私は12~13年前までは名前しか知りませんでした。平成18年、仲間と共に「歴史文化を伝承する市民の会」を設立し同時に蒲生神社に



明石志賀之助の石像を建立、子供達100人を集めて相撲大会を開催しました。今年も4月6日に開催しましたが、先ず始めるにあたり日本相撲協会に挨拶に行きますと開口一番「明石志賀之助は、伝説の人でしょう！」と言われました。私は、そんな事は無いと思っていたのです。と言うのは、面談直前に相撲協会にある相撲博物館に入ると、この力士明石の錦絵が第1番目に飾ってあったのです。「寛永元年初代横綱明石志賀之助野州宇都宮」と書いてあり、この錦絵から第69代横綱白鵬に到るまでの額が飾ってありました。そのように歴代の横綱額

を見てからでしたので汗と恥をかいて帰って来ました。家に戻り何冊か本を読むと力士明石は実在しない、架空の力士扱いされていたのです。しかし、このまま力士明石を冠として毎年子供を集めて相撲大会を開いて良いのかと疑念にかられもしました。更に「日本相撲大鑑」の中でも「明石志賀之助が、いたとしても」という扱いでこの書を更に読み下すと、力士明石に関する古記録3冊あるものの力士明石の活躍した年代が判りませんでした。その内の1冊、宝暦13年(1763)に書かれた「古今相撲大全」に、明石志賀之助は、寛永元年(1624)に江戸四谷塩町の笹寺で相撲を取ったと書かれていました。これは139年前の力士明石の活躍を書いた本でどうにも信憑性に乏しく寛永の力士だと言われても仕方ないと思えた。そこで寛永年の前後を調べてみても矛盾が多過ぎていたのです。私は、全国各地を飛び回り南は島根県出雲市、兵庫県姫路市、奈良県葛城市、東京、千葉県、埼玉県、栃木県、北は福島県、宮城県、山形県と既に2年半が過ぎ、平成21年11月山形県上山市の方から手紙が届きました。手紙には「明石志賀之助は、上山に来ていますよ」とあり、それは「上山三家見聞日記」に記述された古記録でした。内容は「同閏8月15日新山権現二日町八幡の如く御旅祭り有江戸より明石志賀之助と言すもふ取下り此祭り振ふすもふ有山城守殿御見物す」とあり「江戸より明石志賀之助と申す相撲取りを呼び寄せて此祭り賑わう相撲あり山城守殿が御見物した」と日記に書き記されていた。更に調べを深めると「同閏8月15日」これが気になり前文を読むと「寛文元年山城守殿、大病により江戸より医師が下り治療した結果回復した」とある。これにより、快気祝いを兼ねて藩主土岐山城守は明石志賀之助を江戸から呼び寄せ相撲を取らせた。これが1つの強い決め手となる。ただ8月15日とは何の日で・祭りとは何だろうと調べた。当時は、徳川家光将軍の幕政で幼名竹千代(家綱)が寛永18年8月3日誕生であり、その時江戸にいた山城守は、酒井雅楽守に上申し、上山で竹千代君の武運長久天下泰平を祈祷する祭りの裁可を得、8月15日のこの祭りであったことが分った。ここで繋がる。竹千代君は15歳で將軍職に就き寛文元年には、20歳の節目の年であったのです。この2つを合わせ、幕府上申の祭りに明石志賀之助を呼び相撲を取ったことが証明されたのです。

この平成年代までは力士明石は寛永の記録とされていましたが、「上山三家見聞日記」の存在によって力士明石の実在の証明がなされ寛永の力士を覆すことになった。この日記は第一級の古記録であり、みちのくの地に埋もれていたこの日記を全国に発表すべく本を出版することを決めた。更に調査を深める。日記筆者、中村文左衛門尚春は、荒木局の娘を娶っていた。荒木局は大奥で春日局の基で働き、春日局は斎藤利三の娘(おふく)であり、荒木局は、武将荒木村重の3番娘でした。斎藤利三と荒木村重は共に明智光秀の家臣(重臣)であった。更に、現代の文豪と言われる松本清張氏は、大奥にいた荒木局の存在を別な角度で証明していました。ここでも時代が繋がります。この史実が明かとなり、これからの話もつじつまが合います。

これより少し時代が移り、元禄の世となり俳聖松尾芭蕉には沢山の弟子がいました。その中の宝井其角が元禄9年、明石志賀之助を名指しで「志賀之助男盛りの春たて」と詠っています。その他6人の弟子も名指しで、「丸山を呑んで登った志賀之助」というように俳句に詠っています。元禄12年、其角は句会にある句合せで俳諧人2人に俳句を競わせた結果を其角全集に残しました。「行司、心にある者にて桜の一枝を折りて右にかざしぬ、これより志賀之助の上、越す者なし」といった言葉そのものを其角全集に書き残しました。同じ元禄12年の9月28日江戸川区の善照寺において不動尊例大祭に合わせて明石志賀之助の引退相撲が行われた記録が残されています。

次に、宇都宮に関しても沢山の力士明石の足跡があります。その一つに、宇都宮市史編纂委員会や栃木県が作った年表補遺に「寛永元年、山内主膳の子、日下開山明石鹿之助」と書いて有ります。私の調べと内容が異なるので、市役所に意見を述べてきました。次に、県庁の西側上野記念館には、明石志賀之助の手形が残っています。手形は27cm5mmで非常に大きな手形です。掌線がはっきりし鍛えダコがはっきりありました。学芸委員の方に承諾を得て後、少し気掛かりでもあり県警の鑑識課を訪ねた。力士明石の

手形を見せるも、10秒位何も言ってくれませんでした。私が「これ、本物ですよ？」と尋ねると、「それにしてもでかいな！」と言われました。そこで改めて本物と確信致しました。次に、栃木県庁東側の県立図書館南側に小高い丘があります。そこは、平成3年程まで本願寺というお寺がありました。今は、駐車場になっております。その本願寺さんには、「百目鬼伝説」がありました。今でも県庁の近くに「百目鬼通り」という通りがあります。百目鬼は非常に力の強い鬼でした。その鬼の力にあやかって、明石志賀之助は（南無阿弥陀仏とかいてあります）この供養塔に詣でたと伝わります。これは本願寺の裏手にあったのですが、手前が明石志賀之助の墓石と伝わります。この手前にあるのは、式守助重のお墓です。残念なことに平成3年に引っ越した際、この三基が紛失してしまいました。この様な形で宇都宮にも力士明石の歴史が繋がっています。

次に、初代横綱明石志賀之助は、誰が決めたのか？明治33年、横綱陣幕久五郎という人が引退をしました。横綱陣幕は「自分は何代目？」かを考え遡ると寛政元年に至る。吉田司家から横綱の免許が与えられました。最初に与えられたのは谷風梶之助、2番目には小野川喜三郎です。それ以前に、日下開山という称号をもった強い力士がいて私の調べでも11人いました。その中から、強い者を年代順に分け並べ変えると先ず3番目に日下開山・三代横綱丸山権太左衛門（宮城県）2番目は栃木市出身の日下開山・二代横綱綾川五郎次です。この人の墓石は、栃木市に今でも残っています。そして、1番目に日下開山・初代横綱明石志賀之助でした。初代横綱と決めてくれたのは横綱陣幕です。この人は富岡八幡に巨大な顕彰碑を建立しました。同時に二代横綱綾川の碑は栃木市に、初代横綱明石志賀之助の碑は、宇都宮の御本丸（現城址公園）に建立しましたが、戦災に遭い放置されて昭和27年、蒲生神社に大八車で移設されました。その脇に力士明石の石像を建立させて頂きました。あの神社は蒲生君平先生を祀った神社で、創建が大正15年であり、この年第27代横綱栃木山守也が引退と同時に、この大鳥居を奉納してくれました。この大鳥居をくぐり登って行きますと、左側に土俵があります。この土俵は、私達が毎年相撲大会で使用していますが、あの同じ土俵上で平成3年春に第58代横綱千代の富士が横綱の土俵入りを奉納してくれたのです。

私達は、宇都宮の自慢は「初代横綱明石志賀之助」と全国に発信しています。有り難うございました。

=当日の食事=



松花堂弁当
煮物 焼き物八寸 お造り
五目ごはん 赤出汁

【6月卓話】

- 6月 4日（火）「宇都宮が生んだ初代横綱 明石志賀之助」に迫る
中村弘様 歴史文化を伝承する市民の会 事務局長
- 6月 11日（火）1年間を振り返って 委員長
- 6月 18日（火） ” ”
- 6月 25日（火） ” 岡崎会長 熊本幹事

会報担当：三井 勝滋 会員
画像担当：菅谷 隆臣 会員